

令和 6 年度北海道大学法学部
第 2 年次編入学試験「小論文試験問題紙」

9 : 2 0 ~ 1 1 : 2 0

解 答 上 の 注 意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題紙を開いてはいけません。
2. 問題紙は 7 ページです。（表紙を除く）
3. 解答用紙は両面 2 枚。下書き用紙は両面 1 枚です。
4. 受験番号（上下 2 箇所）は、監督者の指示に従って、すべて解答用紙の指定された箇所に必ず記入しなさい。
5. 解答はすべて、解答用紙の指定された欄に横書きで記入しなさい。
6. 下書き用紙は回収しません。

問題1 以下の文章を読んで、問いに答えなさい。

※問題本文は著作権上の理由から掲載することはできませんので、以下の出典箇所を参照してください。

なお、2、3頁は白紙のため省略となっています。

出典： 嶋田博子『職業としての官僚』（岩波書店、2022 年）。出題に際し、文章の一部を省略・改変した。

問 1 下線部①のことに気づいた後の政権がとった方策と、その功罪について、200 字以内で説明しなさい。（配点 20 点）

問 2 下線部②の意味することと、それについてのあなたの見解を、合わせて 400 字以内で述べなさい。（配点 30 点）

問題2 以下の文章を読んで、問いに答えなさい。

※問題本文は著作権上の理由から掲載することはできませんので、以下の出典箇所を参照してください。

なお、6 頁は白紙のため省略となっています。

注 1

注 2

注 3

注 4

出典：鈴木慎太郎「ドーピングは禁止すべきか」瀧川裕英編『問いかける法哲学』（法律文化社、2016 年） 出題に際し、文章の一部を省略した。

問 1 下線部①で、筆者は、なぜ「多くの人にはドーピング有りの野球に賛成する気持ちにはなれないだろう」と考えているのか。その理由を、「スポーツの本質的目的」とは何かを示しつつ、200 字以内で説明しなさい。（配点 20 点）

問 2 下線部②で、筆者は、国家がドーピング禁止の主体になることの是非に関する 1 つの見解を述べている。下線部②の見解、および国家がドーピング禁止の主体となることの是非についてのあなたの考えを、理由を示して 400 字以内で述べなさい。（配点 30 点）

令和 6 年度北海道大学法学部
編入学試験「英語試験問題紙」

12 : 20 ~ 14 : 20

解 答 上 の 注 意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題紙を開いてはいけません。
2. 問題紙は 6 ページです。（表紙を除く）
3. 解答用紙は両面 2 枚です。
4. 受験番号（上下 2 箇所）は、監督者の指示に従って、すべて解答用紙の指定された箇所に必ず記入しなさい。
5. 解答はすべて、解答用紙の指定された欄に横書きで記入しなさい。

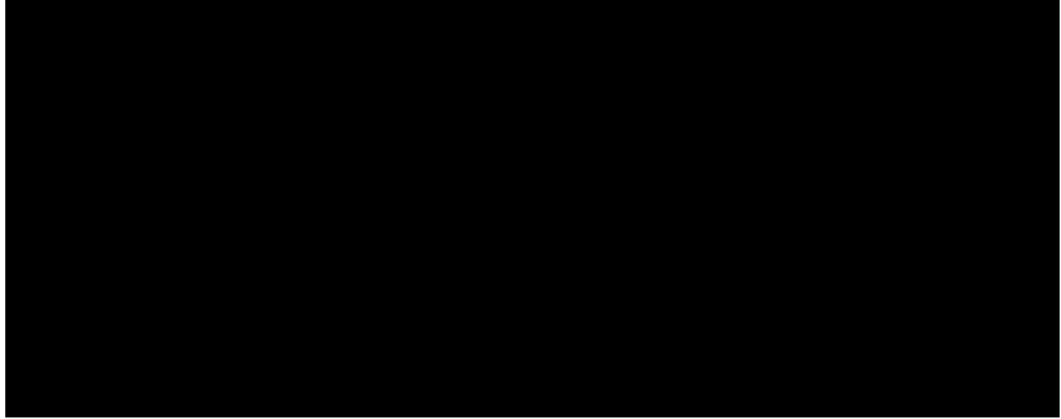
問題1 次の文章はアメリカ市民の陰謀論者に対する態度に関して書かれたものである。これを読んで問いに答えなさい。(50点)

※問題本文は著作権上の理由から掲載することはできませんので、以下の出典箇所を参照してください。

なお、2、3頁は白紙のため省略となっています。

(出典) Curtis Bram, “UFOs exist, and might come from beyond Earth, the U.S. said. Will that encourage conspiracy theorists?” The Washington Post (2021). 出題に当たって、一部省略、語句の修正を行っている。

(注)



問1 下線部①～④を日本語に訳しなさい。(各9点)

問2 筆者が行った2つの調査の方法と結果を日本語で具体的に説明しなさい。(14点)

問題2 日本での非正規雇用に関する次の英文を読んで、後の各問に答えなさい。(50点)

※問題本文は著作権上の理由から掲載することはできませんので、以下の出典箇所を参照してください。
なお、5頁は白紙のため省略となっています。

(出典) Chikako Kanki, *Legal Regulation of Unreasonable Treatment of Non-regular Employees in Japan*, 13 JAPAN LABOR ISSUES 3 (2019). (出題に当たって一部を省略した。)

(注)



問 1 下線部①～④を日本語に訳しなさい。 (各 10 点)

問 2 正規雇用労働者と非正規雇用労働者の間で生じる労働契約上の条件・待遇格差の是正に関し、下線部⑤において言及されている 2 つのアプローチ (“差別禁止 (non-discrimination)” アプローチと “規制政策 (regulatory policy)” アプローチ) はどのように異なるのか、日本語で具体的に説明しなさい。
(10 点)

令和 6 年度北海道大学法学部
第 3 年次編入学試験「専門科目試験問題紙」

14 : 50 ~ 16 : 50

解 答 上 の 注 意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題紙を開いてはいけません。
2. 問題紙は 2 ページです。（表紙を除く）
3. 解答用紙は両面 2 枚です。
4. 受験番号（上下 2 箇所）は、監督者の指示に従って、すべて解答用紙の指定された箇所に必ず記入しなさい。
5. 解答はすべて、解答用紙の指定された欄に横書きで記入しなさい。

問題 1

以下の各問いにすべて答えなさい。

問 1 制限行為能力者制度について、(1) この制度の意義、(2) 制限行為能力者の類型と各類型の要件、及び、(3) 各類型の効果を説明しなさい。(25 点)

問 2 Aは、債権者から自分の財産を隠すため、自己所有の土地（以下「本件土地」という。）の登記名義をBに無断でA名義からB名義に勝手に移転した。後日そのことに気づいたBは、本件土地を自分（＝B）の所有物であると称して、月額 10 万円の賃料でCに賃貸して引き渡した。CがBとこの賃貸借契約を締結したとき、Cは本件土地の所有者をBであると信じていた。

この場合、AC間の法律関係がどうなるかを説明しなさい。(25 点)

問題 2

下記の両問に答えなさい。

問 1 人口の減少や地域偏在は、国や地方の政治・行政にどのような影響を及ぼすか。
考えうる問題解決の方向性ととも、多角的に論じなさい。

(20 点)

問 2 下記の (1) ～ (3) から 2つを選択し、それぞれについて説明しなさい。

(各 15 点×2=30 点)

- (1) モンテスキューの政治思想とその現代的意義
- (2) 新自由主義の特徴とそれが登場してきた経緯
- (3) 2 レベル・ゲームが展開している実際の事例